

自殺対策計画進捗確認シート【文京区】

[資料 第4号]

令和7年1月17日

計画における項目	実施内容	計画書 ページ	担当部署	担当課	令和6年度実施状況	令和6年度 実施状況に関する担当課の評価	達成度(%)	今後(令和7年度以降)の実施計画
基本施策 1 区民への自殺対策の啓発と周知								
1 - 1. 自殺やこころの健康問題に関する理解の促進	自殺対策講演会	45	保健衛生部	予防対策課	年1回実施 76名(申込102名)	「森川すいめい先生が教えるSNS世代の生きやすさのヒント～心が楽になる5つの方法～」をテーマに対話の大切さ、オープンダイアログについて学んだ。	参加者の満足度 92.8%	子ども・若者・勤務問題・女性の自殺対策等、引き続き区の実情に応じた講演会内容を検討し、対面開催を継続実施する。
	心のサポーター養成研修	46	保健衛生部	予防対策課	年3回(対面2回・オンライン1回)実施し、67名参加。	メンタルヘルスや精神疾患への正しい知識を持ち、地域や職域でメンタルヘルスの問題を抱える人や家族に対してできる範囲で手助けができる心のサポーターを養成した。	参加者の理解度 94%	講座の体系、時間等について検討の上、引き続き継続実施する。
1 - 2. 自殺やこころの健康に関連する情報提供の充実	相談窓口一覧リーフレットの作成配布	45	保健衛生部	予防対策課	リーフレットを9000部作成し、関係機関(各課・医療機関・関係施設・保育園・幼稚園・学校等)に配布。イベントや研修等でも配布した。文京区ホームページにも掲載。	従来の発行部数より5000部増刷し、区民対応部署を中心に広く配布を行うことができた。	100%	引き続き、同等部数作成し、情報提供を実施する。
	こころの体温計	45	保健衛生部	予防対策課	令和6年度アクセス数 11月現在6,239人(参考) 令和5年度アクセス数 延べ16,203人	こころの体温計QRコード記載の啓発品を作成。ホームページ等で周知し、啓発を行った。	各月のアクセス 実数1000人以上 不達成(R6.12月現在)	令和6年度の実績報告を精査し、今後の継続を検討する。
	自殺対策啓発グッズの作成・配布	45	保健衛生部	予防対策課	都の自殺対策強化月間における街頭キャンペーンと連携を図り、礒川公園周辺、都営大江戸線春日駅構内で9月13日及び3月14日(予定)にリーフレット・啓発品等を各300セット配布。(令和5年度は各150セット)	区ホームページ「相談先～ひとりで悩まないで～」につながらるQRコードを載せたふせんを作成し配布。街頭キャンペーンは配布場所、配布部数、担当人員を増やし周知啓発を行った。	100%	不安や悩みを抱えた人が相談や必要な支援にたどり着けるよう新たな発信・媒体・手法の工夫をする。
1 - 3. ライフステージに応じたこころの健康づくりの推進	精神保健講演会	45	保健衛生部	保健サービスセンター	「セルフ・コンパッションの実践～自分に寄り添うための第一歩～」、「インターネット依存」の年2回開催。	セルフケアとインターネット依存症のテーマで区民に対し知識を普及することができた。	100%	社会状況、住民ニーズを検討した上で、精神保健に関する知識普及のための専門家による講演会を実施する。
	いのちと心の授業	45	教育推進部	教育指導課	全小中学校を対象に、外部講師を招いた「いのちと心の授業」を実施した。	各校の児童生徒の実態に合わせ、東京助産師会や公益財団法人メイク・ア・ウィッシュ・オブ・ジャパン等から講師を招聘し、いのちと心の授業を行った。講師の話を通して、自他を尊重することの大切さを学び、命について深く考える機会となった。	100%	引き続き、全小中学校で実施する。また、学校間で講師情報を共有することで、児童生徒の実態に応じた講師の設定ができるようにする。
基本施策 2 自殺対策を支える人材の育成								
2 - 1. 区職員や地域のキーパーソンなど様々な分野でのゲートキーパーの養成	ゲートキーパー養成講座	48	保健衛生部	予防対策課	区民(在住・在勤・在学)向け(年2回実施) ・基礎 31人 ・応用 43人	基礎「気づく 寄り添う～SOSに気づく 声をかける」、応用「寄り添い つなぐ ～こころの叫びを聴く～」をテーマに対面開催した。受講者には「修了証」を交付した。	参加者の理解度 100%	講座の体系、時間等について検討の上、引き続き、継続実施する。
	全職員を対象としたゲートキーパー養成講座の実施	48	保健衛生部	予防対策課	年3回実施 ・初級 33名 ・中級 22名 ・上級 27名(地域支援者 7名含)	初級：初めて受講する職員 中級：区民対応表無の部署に従事する職員 上級：対人援助に関わる部署の職員と地域支援者 レベル分けし実施。アンケートより参加者の理解度は100%であった。	受講者が所属する課の割合 38.46% (52課の内、20課)	講座の体系、内容、時間、講師等について検討の上、引き続き、全職員を対象に継続実施する。 達成度は令和10年度までに100%をめざす。
	オンデマンド・ゲートキーパー養成研修(動画)	48	保健衛生部	予防対策課	文京区ホームページにて、オンデマンド配信動画(全3部)をYouTubeにて掲載	文京区ホームページの自殺対策事業を検索しやすく見やすいように改定した。	数値評価は困難	継続実施
	ゲートキーパー研修	48	教育推進部	教育センター	年1回実施 教職員向け 31名	区内小中学校教員を対象とし、「いのちの教育」を推進するために必要な、生命に関わる重大事故の未然防止、相談支援につなげることができる教員の資質、能力を高めることができた。	参加者の理解度 100%	継続実施
2 - 2. ゲートキーパーの資質の向上	専門的な知識を持った支援者の育成や研修で活用できる資料の検討	48	保健衛生部	予防対策課	ゲートキーパー養成講座のアンケートの様式の整備と講座参加者への自殺対策計画の周知	ゲートキーパー養成講座のアンケートの様式を統一し、毎年の理解度の評価を比較できるようにした。 養成講座の参加者へ自殺対策計画について周知を行い、対策の重要性を認識してもらい、各自の役割の認識を深めてもらうことができた。	数値評価は困難	各分野の関係者に講座等の情報提供を積極的に行い、引き続き受講を促していく。

自殺対策計画進捗確認シート【文京区】

[資料 第4号]

計画における項目	実施内容	計画書 ページ	担当部署	担当課	令和6年度実施状況	令和6年度 実施状況に関する担当課の評価	達成度(%)	今後(令和7年度以降)の実施計画
基本施策3 自殺を防ぐための関係機関・地域ネットワークの強化								
3 - 1. 自殺対策関係会議の運営	文京区自殺対策推進会議	50	保健衛生部	予防対策課	年1回開催	令和7年1月28日実施予定 保健、医療、福祉、労働、教育等の関係機関と行政機関で構成し、文京区自殺対策計画（令和6年度～令和10年度）に基づき、自殺対策の取組について評価、検証を行う。	実施予定	継続実施
	文京区自殺対策委員会	50	保健衛生部	予防対策課	幹事会：年1回開催 委員会：年1回開催	幹事会：令和7年1月17日実施 委員会：令和7年1月24日実施予定	実施予定	自殺対策に関する適切な事業等を検討し、庁内の関係部署の連携体制の構築、重層的支援体制の整備に取り組んでいく。
3 - 2. 関係機関と連携した自殺対策の推進	区内大学地域連携担当者会議	50	アカデミー推進部	アカデミー推進課	1回参加	区内大学に向け、自殺対策の啓発周知のため、「相談窓口一覧」の周知を行った。	実施	若年層の自殺対策を推進するため、引き続き、区内大学と自殺対策の情報共有を行っていく。
	文京区地域精神保健福祉連絡協議会	51	保健衛生部	予防対策課	年2回開催	区の精神保健福祉施策について検討する。	実施	精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築に向けた議論を深めるため、継続実施する。
	文京区精神障害者支援機関実務者連絡会	51	保健衛生部	予防対策課	年3回開催	区内の精神障害に関わる事業者の連携体制の構築と研修による質の向上を目指して、1回目は「知られざる薬剤師さんの仕事～見えないところで支えてる～」2回目は「文京区の拠点を知ろう」3回目は「連携って面白い！～事例から学ぶ連携のヒント～」(予定)をテーマに実施。	実施	引き続き年3回実施する。区内在住の精神障害者が地域に定着し、自立した生活を送ることができるように支援を行っている関係事業者同士の連携を図る。
基本施策4 悩みを抱える人への支援								
4 - 1. 相談体制の充実	ICTを活用した自殺対策事業（業務委託）	新規	保健衛生部	予防対策課	ウェブの検索サイトで、自殺の手段や希死念慮等を問わせる自殺関連ワード検索を行う者に対して、相談窓口を紹介する広告を表示し、ワンクリックでメール相談に誘導して現実の相談につなぐ。 R6相談者数：47名（男性8名、女性38名、その他1名） 10代/5名、20代/16名、30代/12名、40代/8名、50代/4名、60代以上/2名	月1回、定例会を実施し、受託者と情報を共有、業務の進捗状況について確認し、必要に応じて適切な関係機関につなげられるよう検討した。	数値評価は困難	継続実施。受託者と更に情報共有を密にし、緊急対応の際には共に対応方針を協議する。
	保健師による健康相談	56	保健衛生部	保健サービスセンター	訪問、所内、電話等で延べ件の相談 約2,000人（12月現在）	引き続き、精神障害を持つ方およびその家族等を中心に保健師による相談を継続していく。	数値評価は困難	継続実施
	精神保健相談	56	保健衛生部	保健サービスセンター	専門医師による個別相談、相談48回実施、相談延べ人数43人（12月現在）	引き続き、精神障害を持つ方およびその家族等を中心に医師による専門相談を継続していく。	数値評価は困難	継続実施
	障害者基幹相談支援センター	54	福祉部	障害福祉課	障害の種別（身体障害・知的障害・精神障害・難病等）にかかわらず、総合的・専門的な相談対応を実施した。	障害の種別（身体障害・知的障害・精神障害・難病等）にかかわらず、総合的・専門的な相談対応を継続実施する。	数値評価は困難	継続実施
	地域安心生活支援事業	56	福祉部	障害福祉課	精神障害者が地域で安心して生活するための相談事業、緊急ショートステイ事業、地域生活体験事業を実施した。	精神障害者が地域で安心して生活するための相談事業、緊急ショートステイ事業、地域生活体験事業を継続実施する。	数値評価は困難	継続実施
4 - 2. 自殺未遂者・自死遺族等への支援体制の確保	文京区自殺未遂者等のハイリスク者支援のあり方を考えるための意見交換会	56	保健衛生部	予防対策課	年1回実施 28名 (医療機関7名、地域支援者4名、区職員17名)	区内大学病院4か所にヒアリングし、医療機関の実態やニーズを把握した。庁内各関係部署、病院等関係機関と自殺未遂者支援に向けて活発な意見交換を行った。	実施	事業目的の整理を行った上で、形態（例：会議体、研修、勉強会など）、開催回数、開催時期、出席者などを検討する。